

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

- (1) 本大会は2009年（財）日本陸上競技連盟競技規則及び、本大会要項を適用するが、児童であることを考慮して、教育的配慮のもとに行う。

2. 競技者受付について

- (1) 当日受付にて、ナンバーカードとプログラムを配布する。ナンバーカードは、競技を行う際に着用するランニングまたはTシャツ等の胸と背に、四隅を安全ピンでとめること。
- (2) トラック競技出場者には、招集時に腰ナンバーカード（写真判定のために使用）を貸与する。（リレーは第4走者のみ）右腰やや後ろに取り付ける。競技終了後フィニッシュライン付近の箱に返却する。

3. 招集について

- (1) 選手招集は、トラック競技・フィールド競技ともに、100mスタート後方ゲートで行う。
- (2) 招集時刻は、その競技の開始時刻を基準として、下記のように行う。

	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	予選・リレー決勝・女子60m(1～9組)	30分前	20分前
	決 勝	20分前	10分前
	男子60m(1～8組)	30分前	20分前
	(9組～13組)	20分前	0分
フィールド	決 勝	40分前	30分前

※三種競技の招集については、1種目目は招集所で行うが、2種目以降は各競技場所で行う。

- (3) 代人による招集は一切認めない。但し、同時に2種目出場するものは、事前にその旨を競技者係に申し出て、審判員同士の話し合いの上、競技に参加させる。
- (4) リレー競技に出場するチームは、**招集完了時刻60分前までに**オーダー用紙を競技者係へ提出する。（オーダー用紙は招集所で競技者係から受け取る）
- (5) 招集に遅れたものは失格になることがあるので、時刻を厳守する。
- (6) 招集場所へは、競技に出場する際のナンバーカードをつけたランニングまたはTシャツを着用し集合する。

4. 競走方法について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及び走路順は本部において公正に抽選し決定する。発表は掲示並びにアナウンスによる。
- (3) スパイクシューズを使用することができるが、スパイクのピンは全天候性走路用9mm以下を使用する。また、素足での競技出場は、火傷の危険があるため禁止する。
- (4) 60m、100m、60mH、80mH、4×100mR第1走者のスタートはクラウチングスタートでもスタンディングスタートでも構わない。スターティングブロックは必要に応じて使用してもよい。（予選決勝を問わない）セッティングを速やかに行う。

* スタートに関するルールは全国大会に準ずる。

同一人が2回不正出発した場合は失格とする。 ただし競技には参加させ記録は参考記録とする。

- (5) 800m以外のトラック競技の場合、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走り、他のレーンに入らない。
- (6) 800mのスタートは、レーンを使用しない。
- (7) ハードル競技は次の規定により行う。

種 目	スタート～第1ハードル	高 さ	インターバル	台数	最終ハードル～フィニッシュ
3・4年生 60mH	12m	60cm	6m	7台	12m
5・6年生 80mH	13m	70cm	7m	9台	11m

- (8) リレーにおける第1, 第2, 第3走者はテークオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまる。テークオーバーゾーン手前からの助走マークの使用は認める。マークは各チームで用意し、レース後前走者が必ず取り外す。
- (9) 3・4年生60m、3・4年生60mH、800m、4×100mRは決勝のみとし、タイムレースで1位～8位までを決定する。5年生、6年生100mは、予選の上位記録8名、5・6年生80mHは予選の上位記録5名を決勝進出とするが、同記録者（1/100秒単位）が出た場合は抽選とする。ただし同一組の場合は順位を優先する。
- (10) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。第1位決定のバーの上げ下げは2cmとする。

走高跳のバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子5・6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後最後の1人になるまで5cmきざみ
男子三種競技	0m85	0m90	0m93	0m96	0m99	1m02	1m05	以後3cmきざみ
女子5・6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後最後の1人になるまで5cmきざみ
女子三種競技	0m85	0m90	0m93	0m96	0m99	1m02	1m05	以後3cmきざみ

- (11) 男女3・4年の走幅跳、ソフトボール投決勝は3回の試技で順位を決定する。
- (12) 男女5・6年の走幅跳、ソフトボール投決勝は3回の試技を行い、上位8名が残り3回の試技を行う。この場合、走幅跳はそのままピットを変えないで行う。
- (13) ソフトボール投は公認1号球を使用する。競技はやり投げピットで行い、投てき角度はやり投げと同じとする。助走距離は15m以内でスパイクを使用してもよい。
- (14) ソフトボール投は、各競技者とも連続3回の試技を行う。
- (15) 競技会で使用する（練習も含む）用器具は主催者が用意したものを使用する。

5. 表彰について

- (1) 団体の部は男女合計得点によるクラブ対抗とし（各種目第1位8点、第2位7点、・・・第8位1点）、第8位までに賞状を授与する
- (2) 各種目第8位（ハードルは第5位）までに賞状を授与する。第3位までは本部前で表彰するので競技終了後直ちに正面玄関ホールに集合する。第4位～第8位は結果発表30分後に本部裏廊下まで取りに来る。

6. 練習について

競技役員の指示に従って9時45分までトラック全周を使って練習できる。その後は14時45分までバックストレートで練習できる。練習には必ず引率者・指導者がつき、安全に配慮して行う。

7. 競技場使用規定（競技場使用上の注意）

- (1) 競技場は、大切にきれいに使用する。
- (2) グラウンド内は、運動靴又はスパイクシューズを使用する。また、グラウンド以外（スタンド・ダッグアウト・本部・アスファルト舗装面等）は、スパイクシューズの使用は禁止とする。
- (3) ゴミは各自持ち帰る。また、競技場近辺やコンビニ、駅等に捨てていかない。
- (4) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意する。

8. その他

- (1) 競技中の事故については、主催者が応急処置を行うが、以後の処置は各自が行う。
- (2) 記録証は希望者に1枚300円で発行するので大会本部（庶務係）に申し出る。
- (3) 更衣は自宅ですてくる。
- (4) その他不明な点は大会総務に問い合わせる。